

高い光学性能と圧倒的な小型軽量化、優れたコストパフォーマンスで、シネマカメラ用レンズの常識を覆す
シネマカメラ用レンズ「MK レンズ」シリーズ

需要が拡大する Web 映像などの動画撮影で威力を発揮

● 新発売 ●

平成 29 年 2 月 22 日

富士フイルム株式会社(社長:助野 健児)は、シネマカメラ用レンズに、高い光学性能と圧倒的な小型軽量化、優れたコストパフォーマンスを実現した「MK レンズ」シリーズを新たにラインアップします。同シリーズの第一弾として、焦点距離 18-55 mm の標準ズームレンズ「FUJINON MK18-55mm T2.9」(以下、「MK18-55mm」)を平成 29 年 3 月上旬より発売します。また今夏に、焦点距離 50-135 mm の望遠ズームレンズ「FUJINON MK50-135mm T2.9」(以下、「MK50-135mm」)を追加し、18-135mm の常用焦点距離全域をカバーしていきます。

近年、インターネット上の企業 CM など Web 映像の急速な普及により、シネマカメラやデジタルカメラを使った動画撮影が増える中、高い解像力と優れた描写力を持つ高性能な動画用レンズの需要が高まっています。本来、浅い被写界深度で、ボケを生かした豊かな映像を撮影するためには、シネマカメラ用レンズが最適ですが、それらは大きく重く、高額であることから、Web 映像などの制作現場では、より安価で機動性に優れたデジタルカメラ用交換レンズを使用することが多くあります。しかし、デジタルカメラ用交換レンズは、静止画撮影向けに設計されているため、ズーミング時に焦点移動や光軸ずれなどが発生するといった問題があります。富士フイルムは、これらの問題に対し、高い光学性能と、クリエイティブな動画撮影者の高いニーズに応える大きさ・操作性を持った新たなシネマカメラ用レンズの開発に取り組んできました。

今回ラインアップに追加する「MK レンズ」は、「FUJINON シネレンズ」の特長である、画面中心から周辺まで高い光学性能と低ディストーション^{※1} を踏襲しながら、従来のシネマカメラ用レンズの常識を覆す圧倒的な小型軽量化と優れたコストパフォーマンスを実現したレンズです。

「MK レンズ」は、焦点距離全域で T2.9^{※2} の明るさを実現。浅い被写界深度でボケ味を活かした撮影を可能にします。また、スーパー-35mm^{※3} /APS-C センサー対応の E マウント^{※4} と、当社デジタルカメラ「X シリーズ」(APS-C センサー対応)で採用している X マウントの 2 種のマウントに対応。短い法兰ジバック^{※5} の利点を光学設計に最大限活かすことで、高い光学性能を小型・軽量ボディで実現しています。さらに、動画専用レンズに最適化された光学・機械設計を行うことで、デジタルカメラ用交換レンズの持つ、ズーミング時の焦点移動や光軸ずれ、フォーカシング時の画角変更(ブリージング)を抑制しています。この他、フォーカス、ズーム、アイリス(絞り)を独立してマニュアル操作できる 3 連リングを搭載し、全ての操作リングのギアピッチ^{※6} を 0.8M(モジュール)に統一。フォーカスリングの回転角を幅広い 200 度に設計し、精緻なフォーカシングを可能にするなど、快適な操作性を実現しています。

まずは E マウント専用レンズとして、焦点距離 18-55 mm の「MK18-55mm」を 3 月上旬に、同 50-135 mm の「MK50-135mm」を今夏に発売します。また、X マウントに対応した製品(焦点距離:18-55mm、50-135 mm の 2 種)は本年中の発売を目指して、開発を進めています。



「MK18-55mm」(E マウント)



【開発中】「MK50-135mm」(E マウント)

富士フィルムが提供するフジノンレンズは、高い描写力が評価され、世界中の映画、CM、テレビドラマの制作の現場で採用されてきました。最先端の映像表現の領域分野で長年培ってきた光学技術や精密加工・組立技術などを生かし、既存の「HK/ZK/XK レンズ」シリーズに、「MK レンズ」シリーズをラインアップに加えて、制作現場の多様なニーズに応えていきます。

※1 ディストーションとは、レンズを通して結像する際に、周辺部で像が縮んだり、伸びたりして、歪む現象。

※2 T 値は、F 値と透過率を考慮して表したレンズの明るさを示す指標。数値が小さいほど明るいレンズであることを表す。

※3 映画用の 35mm フィルムカメラにおいて標準的なフォーマットで、多くのシネマカメラで採用されているセンサーサイズ。

※4 ソニー株式会社が開発したレンズマウント規格。

※5 レンズマウントのマウント面からセンサーまでの距離。

※6 歯車の歯と歯の間の距離。

記

1、品名・発売時期・標準ユーザー渡し価格 :

シネマカメラ用レンズ「MK レンズ」シリーズ

(1)「FUJINON MK18-55mm T2.9」

① 発売時期 : 平成 29 年 3 月上旬

② 標準ユーザー渡し価格 : 420,000 円(税別)

(2)「FUJINON MK50-135mm T2.9」(開発中)

① 発売時期 : 平成 29 年夏

② 標準ユーザー渡し価格 : 未定

尚、X マウントに対応した「MK レンズ」につきましては、詳細が確定次第、ご案内いたします。

2 月 22 日付の「X シリーズ」の最新のレンズロードマップでもご案内しています。

http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/xf_lens/roadmap/index.html

2、「MK レンズ」シリーズの主な特長 :

(1)小型・軽量なレンズ鏡胴に凝縮された高い光学性能

- 画面中心部から周辺部まで高い光学性能と低ディストーションを実現。シネマカメラ用フジノンレンズ「HK/ZK/XK レンズ」シリーズと色味を統一設計することにより、複数のレンズを併用する際に必要なカラーグレーディング※7を簡略化します。
- 焦点距離全域で T2.9 の明るさを実現し、需要が高まっている、ボケを活かした浅い被写界深度での撮影が可能。さらに、ライティングを再調整する手間を省き、撮影時間の短縮に貢献します。
- スーパー35mm／APS-C センサーに対応した E マウントと、当社ミラーレスデジタルカメラ「X シリーズ」で採用している X マウント(APS-C センサー対応)専用設計。短い法兰ジバックの利点を最大限活かすことで、高い光学性能を小型・軽量ボディで実現し、少人数オペレーションでの撮影にも対応します。
(「MK18-55mm」「MK50-135mm」:E マウント専用。本体重量約 980g。)

※7 編集作業において、映像の色彩を補正する作業。

(2)映像制作におけるデジタルカメラ用交換レンズの課題を解消

- フロントフォーカス群とズーム群が独立して駆動する方式を採用し、ズーミング時の焦点移動を抑制。ズーミング後にフォーカスを合わせ直す必要がありません。また、光学的・機械的に抑制しているため、電気制御のようなタイムラグもありません。
- フロントインナーフォーカス方式を採用することでフォーカシング時の画角変動(ブリージング)を抑制。印象的なシーンでのフォーカシングを違和感無く行うことができます。
- 従来のシネマカメラ用レンズで培った製造技術を活用し、ズーミング時の光軸ずれを抑制。狙い通りの構図で撮影できます。

(3)動画専用レンズとして求められる快適な操作性を実現

- ・ フォーカス回転角は 200 度と幅広い回転角を確保。精度の高さが求められる浅い被写界深度での撮影時においても精緻なフォーカシングが可能です。
- ・ フォーカス、ズーム、アイリスを独立して操作できる3連リングを搭載。ズームはもちろん、フォーカスやアイリスにもフルマニュアル機構を採用し、タイムラグが生じる電気制御とは異なり直感的な操作が可能です。
- ・ 全ての操作リングのギアピッチを、これまでのシネマカメラ用フジノンレンズと同一の 0.8M に統一。正確かつスマートなフォーカシングを可能にするフォローフォーカスなど、映像制作に欠かせない標準的な周辺アクセサリーの使用が可能です。
- ・ アイリスはクリックが発生しないシームレス調整に対応。精緻な露出調整を実現し、また、クリックによる振動や作動音も防ぎます。

(4) シリーズ全体を共通設計することで快適な運用を実現

- ・ レンズ前枠径は 85mm とし、マットボックスの共用が可能です。
- ・ フィルター径は 82mm とし、フィルターの共用が可能です。
- ・ 3 連リングのギア位置を統一し、レンズ交換時にアクセサリー位置の再調整が不要です。
- ・ 被写体に接近して撮影が可能なマクロ機構を搭載。1 本でカバーする撮影シーンを拡大します。
「MK18-55mm」: 被写体距離^{※8} 0.38mm(ワイド端)
「MK50-135mm」: 被写体距離 0.85m(ワイド端)
- ・ 「フランジバック調整機構」^{※9}を搭載。カメラとレンズをベストマッチングさせ、光学性能をフルに引き出します。
※8 結像面から被写体までの距離。
※9 カメラ毎のフランジバック(レンズの取付基準面からセンサーまでの距離)に合わせて、レンズの結像面を最適な位置に調整可能。

3. 主な仕様:

型名	FUJINON MK18-55mm T2.9	FUJINON MK50-135mm T2.9(開発中)
焦点距離	18-55mm	50-135mm
ズーム比	3.0 ×	2.7 ×
F-No.	F2.75	F2.75
T-No.	T2.9	T2.9
画面寸法	24.84mm × 13.97mm(Φ 28.5mm)	24.84mm × 13.97mm(Φ 28.5mm)
最至近撮影距離(M.O.D.)	0.85m/2ft 9in (マクロ操作時 0.38m/1ft 2.9in)	1.2m/3ft 11in (マクロ操作時 0.85m/2ft 9in)
被写体範囲(M.O.D時) [水平×垂直]16:9アスペクト比*	18mm: 924mm × 520mm 55mm: 291mm × 164mm	50mm: 534mm × 300mm 135mm: 196mm × 110mm
画角[水平×垂直] 16:9アスペクト比*	18mm: 69.2° × 42.4° 55mm: 25.5° × 14.5°	50mm: 27.9° × 15.9° 135mm: 10.5° × 5.9°
絞り羽根枚数	9枚	9枚
フィルター径	82mm	82mm
前枠径	85mm	85mm
全長	206.3mm	206.3mm
質量(約)	980g	980g
レンズマウント	Eマウント	Eマウント

*センサーサイズ: 24.84mm × 13.97mm

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

(報道関係)	コーポレートコミュニケーション部	TEL03-6271-2000
(お客様)	光学・電子映像事業部 営業グループ	TEL048-668-2143
富士フィルム	ウェブサイト	http://fujifilm.jp/